

本と画像

若いころ よく映画を見た

「アメリカ」 「フランス」 寺と それぞれの画像

「江戸」 こんなコトか とせずうしく夢中た

本に

映画で「マドレーヌ」 「ソノ」 「腰」 「腰」

「アマ色」の「サラ」の「ア」 「シヤ」 「マ」 「シ」

その「サラ」 「ア」 「マ」 「シ」 「ヤ」 「シ」 「マ」 「シ」

二人の愛憎がわかる ひとつ途ま心はりのころ

画像

電車をすすむように存在と本に在る

電車の行きかえりいつも本に在る あり

どうも電車が逆行しているように思い 今の

歌を破読 やはり 見る方向が 本に夢中た

あり終点になつたのを 気がかす 折り返し

回転した 「モ」 の不付 舞つたの クライマツ

クニ だつたのだ

大宮に「モ」 じゆんか 乗る 五階の全部 本

うり場だつた 本に 本に どの本にしよう

「バ」 し「ア」 ぶ「ア」 だ 目に と「ア」 の「ア」 の「ア」

名探偵不アうい

あり不アうい安がいい 不アうい事務神が

又いい 洋服が午の上に情子を和しとせ

部屋がフクリはアソケク

不アういが外出する時 吾だた午に馬車かす

ていふ 吾はのりこ 不アうい

事務神は種々 秘書のミスしをい はて

なくじふでなく ありやれ

不アういの乗る馬車の音がきこえろ

をいだうて 画線がある

そんな不をものともい

だのいをわろわろいと言ふ 不やがあら

どうしてそのだろ

そのすばらしさを知らるる

不が乗敵存んだとわかれは 不やがあら

ことば

一息しかるうい店 入場料がいの店

イベントももろろ店 工場てい

会場のようになつたうい 不やへ行きたい